

ARAI NEWS

Actual Story From Inside.

'88年 アライ
レーシングスクールが
変わります。

'83年6月から開放されたアライレーシングスクールも、はや5シーズンを終えました。この5年間で、神谷校長を始めとするインストラクターやスタッフの熱心な努力で、すでに5000人以上の卒業生を送り出し、草分けとして多くのライディングスクールやレーシングスクールの手本となりました。また、MFJ承認スクールとして、唯一のノービスライセンス取得可能なスクールとして認められています。そして、今年6シーズン目突入にあたり、世界の頂点に立つライダーの卵を育てるというより大きな目標のために、内容を大幅にレベルアップします。

レーシングスクールの初期の目的は、モータースポーツの健全な育成をはかるため、レーサーを目指す人達にレースライディングの基礎知識やテクニックを教えると共に、レーシングライダーとしてのモラルを向上させること。そしてしっかりとした技術と精神を兼ね備えたライダーで、レース界の底辺を広げることになりました。そして、唯一のノービスライセンス取得可能なスクールとして、レースを自指すライダーにとつて登龍門としての活動と、その卒業生達(その中には、全日本チャンピオンの片山信二選手や田口益充選手も含まれています)の活躍は、現在のロードレースの隆盛になんらかのあたりでお手伝い出来たのではないのでしょうか。その後に来た多くのライディングスクールやレーシングスクールの相次ぐ開校と共に、この底辺を広げるといふ初期目的は、ファーストステップとして達成出来たものとして、アライレーシングスクールでは、世界の頂点に立つという、より大きな目標に向かってより新たなステップへ飛躍することにしたのです。

'88年からのアライレーシングスクールは、真剣にレースに挑もうとするライダーを対象に、今までのノービスライセンス取得希望者のためのスクールとは別に、ノービスライセンスを取得していることを参加の最低条件として、1回のスクールの定員も、今までの60名から30名へと厳選し、より内容の濃いカリキュラムとなります。

例えば、3時間の実技走行では、10名ほどのグループに分かれ、通常のスポーツ走行ではできないような突っ込みの際のブレーキングの練習を、3時間みっちりポイントを絞って反復し、ブレーキ

グポイントを選らせた後の姿勢変化を体で覚えこませようなど、いままでにはないより実戦的な内容を予定しています。このブレーキングの他にも、数多くのカリキュラムコースを用意して、何度参加してもその度に、確実に成果が上がるような密度の濃い内容になる予定です。

'88年からのアライレーシングスクールは、今までの国内で行なわれていたレーシングスクールには前例のない厳しい内容となり、ノービスライダーだけでなく、ジュニアや国際A級のライダーが参加しても進歩するような内容になるはずで、アライでは、世界のひのき舞台のまん中に日の丸を上げるといふスクール開校時からの夢を持っています。その実現に近付けるために、頂点を自指すような心意気を持ったライダーを、積極的に応援するという今回の主旨に賛同させていただきます。具体的な内容については、スタッフがディスカッションを繰り返して、懸命に詰めている最中です。もうしばらくで事務局より発表になります。神谷校長をはじめ、各インストラクター、事務局のスタッフハウスのメンバーも張り切っています。ご期待ください。

